

予算決算委員会総務文教分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 開催日	令和元年9月5日(木)
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	隅田雅春座長、栗山泰三副座長、安井博幸委員、 恒田正美委員、田村直也委員、河南克典委員、森本富夫議長
4. 欠席議員	なし
5. 会議に付した事件	議案第67号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算(第5号)
6. 議事の経過	<p>9:30 開議</p> <p>隅田座長 開議宣告</p> <p>■行政経営部</p> <p>日程第1 議案第67号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算(第5号)</p> <p>財政課・管財契約・税務課</p> <p>【主な説明】</p> <p>補正予算書に基づき説明</p> <p>【主な質疑】</p> <p>栗山副座長 減債基金費に関し、景観まちづくり刷新モデル事業において借り入れた市債の償還について、地域振興基金繰入金を財源として減債基金に積み立てるとのことであるが、地域振興基金を財源とする理由について、再度説明願う。</p> <p>行政経営部 これは3年間で取り組んでいる景観まちづくり刷新モデル事業の財源とするもので、国の補助金が1/2、それを引いた残りの90%が地方債で、そのうち20%が交付税算入される。補助金等があるので市の持ち出しは全体事業費の4割程度となり、それについては地域振興基金を活用することとしている。この度、平成29年度繰越分、平</p>

	成30年度分の事業費が確定し償還額が決まったため地域振興基金から減債基金へ積み替えしようとするものである。
栗山副座長	地域振興基金は、合併時の地域振興のために使うことが本来の目的ではないか。地域の中心部のためだけに基金を使うのはいかなものか。
行政経営部	景観まちづくり刷新モデル事業は城下町地区に限定される事業であるが、そこに集客することによって市内全域に恩恵が及ぶことを期待した事業であり、市全体の発展に通じるということから地域振興基金を充てさせていただいている。
森本議長	公債費に関し、借入利率の確定及び利率の見直しなどにより利率が下がったことにより減額補正するとのことであるが、当初の利率と見直し後の利率について説明願う。
行政経営部	予算を編成した段階の利率は1.15%で、今回確定した利率は、大きなもので0.01%や0.2%になったものがある。借り換えを行った臨時財政対策債については10年前1.4%であったものが0.01%になった。現在市で借入れをしている高い利息のものについてはすでに繰上償還などで償還が済みであり近年借入れを行うものは低利のものが多い傾向である。
河南委員	市債については利率2%程度であったと認識しているが、今は全て低利な利率になっているのか。
行政経営部	今詳しい資料は持ち合わせていないが、2%で借りたものは基本的に最後まで2%で返済するが、5%や8%で借りたものは繰上償還を行ったり、順次償還が終わっており、全体としては低利な利率が多くなっている。
安井委員	公用車管理費について、市バスのラッピングを車両の前後・左右だけでなく、屋根もするとのことであるが、どのような効果が得られるのか。
行政経営部	ビルなどの高層階からの視覚的効果を想定しており、文字で記載し、「丹波篠山市」をPRできればと考えている。
安井委員	ラッピングしたにもかかわらず、数年程度で廃車になれば、費用的に効果が低いと考えるが、2台の市バスは、あと何年くらい使用できるのか。
行政経営部	丹南市バスは平成29年度、西紀バスは平成30年度に導入しており、ご指摘のことについては、問題ないと考える。
河南委員	ラッピングは、絵だけではなく、文字などもうまく見せるような工

行政経営部	夫を加えることで、より効果が得られると考えるので検討願いたい。
恒田委員	参考にさせていただく。
行政経営部	2台の市バスの稼働率ほどの程度か。
恒田委員	2台で年間360日程度運行をしており、2台とも2日に1回程度の運行している状況である。
行政経営部	もっと丹波篠山市をPRするのであれば、公共バスや高速バスなどを利用して、市外、県外、全国に向けてPRするような方法もあると考える。今後、検討いただきたい。
行政経営部	今回の市バスへのラッピングは、水無月会議での「ラッピングトラック事業」に関する一般質問がきっかけで、管財契約課において、それに先行して市バスへのラッピングを提案させていただいている。ご意見については、農都創造部商工観光課が民間事業者と協議しており、バスについても、同じようなラッピングができないか検討していると聞いている。ご意見については、商工観光課へもつなぎたい。
安井委員	(歳入) 個人市民税に関して、今回、増額補正となる要因について説明願う。
行政経営部	分離課税の対象所得が165億1,251万円と大幅に増加したことから、個人市民税所得割の課税額も増加となるためである。
安井委員	今年度のみ突発的な要因ということか。
行政経営部	そうである。

■企画総務部

日程第1 議案第67号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算(第5号)

秘書課・創造都市課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

恒田委員	企画一般事務費に関し、「丹波篠山の家」について、丹波篠山らしい生活スタイルを用いたモデルハウスとはどのようなイメージなのか。
企画総務部	主たる目的は、地域の気候、風土にあった木造住宅の普及・促進と良好な景観形成の推進、地域住宅市場の活性化を図っていきたいと考えている。具体的なことはこれから検討していくこととなるが、丹波

篠山の気候、風土や文化、景観に配慮した地域型住宅として丹波篠山の住まいの一つの形として、提案したいと考えている。今後、丹波篠山若手工務店の会「住倶楽部」や建築組合の協力を得ながら庁内検討委員会においてモデルハウスの建築にかかる実施設計、丹波篠山の家の基準と普及への支援制度の検討を進めたいと考えている。

コンセプトとしては、風通しの重視、地域産材の活用、環境負荷の逡減、健康で快適な生活がしやすい、周囲の景観に配慮した外観等をイメージしている。近年、ハウスメーカーの住宅等では、1階部分に軒のない家が多く見られ、暑い時期などは軒があることで、エアコンなどの電気代が抑えられ、環境への配慮につながる。これまで、日本の高温多湿にあった住宅が建てられてきたこともあり、そうした価値観を改めて見直すことも必要だと考えている。

恒田委員

「丹波篠山の家」は、和風建築、洋風建築にはこだわらないとの理解でよいか。住宅メーカーやオーナーの意向によって住宅スタイルも異なると思うが、建て方やスタイルに一定の規制をかけるのか。

企画総務部

今回、一つの提案としてモデルハウスを建築しようと考えている。和風、洋風といった区分ではなく、例えば、認定基準等を策定し、それにあった家を「丹波篠山の家」として認定する方法もあると考えており、結果、それが普及していけばと考えるが、デザインに関してはその基準と直接の結びつきは考えていない。景観調和の観点から、落ち着いた外観になるような基準は設けてもよいのではないかと考えている。歴史的まちの区域やさとの区域など、建築場所によってデザインも変わってくるので、地域、場所に応じた建て方も検討する必要があると考える。

恒田委員

建築場所に応じた建て方は景観への配慮にもつながる。

企画総務部

モデルハウスは、あくまで一つの提案であるため、それが「丹波篠山の家」ではない。建て方やデザインは色々ある。モデルハウスの建築候補地については、市有地で今後の住宅事情の動向を勘案して選定したいと考える。近年、味間地区での住宅需要が高く、今後もその傾向は続くと考えており、利便性も高く、子育て世代の住宅需要を想定したモデルハウスを建築したいと考えている。そのモデルとなる建て方ができる場所として、ハートピア北条団地を一つの候補地として考えている。分譲地が5区画残っていることもあり、販売促進にもつなげられるのではないかと考えている。

安井委員

子育て世代をターゲットとしたモデルハウスを建築するということ

	か。
企画総務部	担当課ではそのように考えているが、今後、住俱樂部や建築組合等と協議していきたいと考える。
安井委員	モデルハウスの売却は想定しているのか。
企画総務部	市が建築した場合、当面、モデルハウスとして普及啓発に努めたいと考えているが、将来的には、土地も含めて売却も検討したいと考える。
安井委員	昔ながらの建て方に新たな技術を加えて、長年、子孫にまで受け継がれるような家になるように住俱樂部や建築組合等と考えていってほしい。
企画総務部	若い世代に住んでもらうための丹波篠山らしい家の提案であるので、新しいものを取り入れつつ、丹波篠山らしい建築とはどういうものか、住宅メーカーや地元の工務店の提案にも耳を傾けてほしいという趣旨でこの事業を進めていきたいと考えており、ご意見を踏まえ、しっかり検討していきたい。
恒田委員	安井委員から、「子孫にまで受け継がれるように」との意見があったが、2世代、3世代同居も想定しているのか。
企画総務部	総合計画において、3世代同居も想定していたが、定住促進施策として3世代近居にも取り組んでいることもあり、実際、生活スタイルやニーズがどうなのか、住俱樂部や建築組合等と協議しながら、丹波篠山らしい家の検討をしていきたいと考える。
恒田委員	とある国では、何十年後かに空き家になることが見込まれることから、家の新築は抑えようとしていると聞く。リフォームや修繕で一つの家をつないでいくことで、廃屋や空き家が解消され则认为られている。市として、2世代、3世代同居を目指すのであれば、そうした観点からの検討も必要だと考える。
隅田座長	モデルハウスの建築はいつ頃を考えているのか。
企画総務部	担当課として、ハートピア北条団地を候補地としているが、建築場所については今後、建築組合等と協議し、決定することになる。スケジュールについては、今年度の実施設計を行い、来年度の春から10月頃にかけて建築できればと考えている。
河南委員	企業振興・誘致促進費について、篠山中央地区農工団地へ接続する上水道のインフラ整備を行うとのことであるが、井戸水の水質も問題がないのであれば、井戸水を活用するべきではないか。
企画総務部	井戸水については工業用水としての利用になる。上水道については、

	ライフラインとして公共として必要最低限のインフラ整備が必要である と考える。
河南委員	井戸水は、食品加工には使用できないと考えているのか。
企画総務部	加工や洗浄で使用いただきたいと考えている。
河南委員	食品加工には使えないということか。
企画総務部	進出企業がどの程度の水質を望まれるかによっても違うが、必要に 応じて自家処理をされる場合や上水を使用しなければならないケース もあると考える。
河南委員	折角掘った井戸でもあるので、十分活用できるように今後考えてい ってほしい。
田村委員	井戸水について、伏流水と地下に埋蔵されているパターンがある。 地下埋蔵タイプの井戸水は使いすぎると地盤沈下が起きることも想定 されるが、その使用にあたってそうしたことは大丈夫なのか。
企画総務部	平成22年度に井戸を掘った際に試験等を行っており、伏流水で日 量400tの水の汲み上げが可能である。現在進出予定の企業は上水 道を使用されることから、残区画での井戸水の活用を図りたいと考 える。
恒田委員	工事負担金は、上水道課が施工する水道管の敷設工事にかかる経費 を水道会計に対して負担するとのことであるが、どのような工事とな るのか。農工団地内には上水道課が所有する上水用の既存の井戸が別 あるが、それを活用するための工事負担金なのか。また、新設の井戸 は日量400tとのことであるが、農都の森構想では2か所の井戸を あわせて日量800tと謳われているがどうか。
企画総務部	農工団地区画内に新設井戸、区画外に既存の井戸があり、あわせて 日量800tの供給が可能である。
恒田委員	今回の工事は、上水用の既存の井戸から接続するのか。
企画総務部	市道小多田線に上水供給用本管が入っており、そこから管を接続す る工事となる。
恒田委員	舗装等の費用も含め、現在の送水管から引く費用が616万3千円 ということか。
企画総務部	そうである。
森本議長	空き家活用事業について、定住促進、住もう帰ろう運動に大きく寄 与する事業だと考える。当初、助成対象見込みを3件としていたが、 制度の周知等が進んだこともあり、申請希望が増加し8件見込まれる ことから、増額補正するとのことであるが、今年度は、まだ半年しか

	たっており、残りの半年を考えた場合、さらに申請希望が見込まれるのではないのか。
企画総務部	空き家活用支援補助金については、県事業に市として随伴した事業であるため、年度内の完了が見込めるものを県へ交付申請しなければならない。これ以後の申請となれば、来年度の補助対象としたい。ただし、早く着工したいとの希望があれば、補助率は下がるが、市単独事業補助金で対応したいと考えている。
森本議長	人口減少対策や空き家対策に関わることでもあるため、しっかりとした取り組みを願う。
隅田座長	補助対象とする空き家がある地域別の詳細について説明願う。
企画総務部	西古佐、泉、今田町上小野原の3件については、当初予算で既に執行しており、風深、宮田、沢田、立町については、現在、相談をいただいております。残る1件は、今後の申請見込みとして挙げている。7件の内、移住4件、Uターン1件となっている。
栗山副座長	空き家活用事業は、まちづくり計画と関係団体への指導が重要ではないか。地域とマッチングした取り組みが必要と考えるが、どうか。
企画総務部	集落単位で定住促進推進員を中心に地域の中で今後どのように暮らしていただけるか、どういう形で空き家を提供いただけるかを草の根的に進めることが重要だと考える。今後、住んでいただいている中でトラブルが起こらないことも重要だと考え、現在進めているところである。
栗山副座長	新しく来られた方と地域との調和についても十分に最初に来られた時に話し合っていて、地域との調和がうまくできて長く住んでいただけるようにすることも重要だと考える。地元の方も来ていただいた方と一緒に長く生活しようという思いも大事だと考えるので、そこをしっかりと押さえて取り組みを進めてほしい。
恒田委員	官学地域連携事業について、大学生の団体等による地域貢献活動に対する交通費等の助成について、当初、7団体を予定していたが、5団体の応募となったことから2団体分を減額するとのことであるが、募集期間が終了したことにより、減額となるのか。
企画総務部	丹波県民局とともに事業を実施しているが、応募の締め切りが4月までで、それを受け、6月に丹波県民局、丹波篠山市、丹波市で審査会を開き、5団体への交付を決定した。

総務課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員 職員人件費に関して、分限休職等の2名の職員の休職理由は何か。また、休職は長期にわたっているものか。

企画総務部 2名に内、1名は、肩の神経系の病気であり、長期なものではない。もう1名は、メンタル不調で長期化している。

恒田委員 産休・育休入りが9名とのことであるが、どの部署に多いかなどの傾向はあるのか。また、その病休、育休の代替として臨時的任用職員を4名配置、増員した理由は何か。

企画総務部 育児休業は、健康課2名、支所1名、幼保職2名、本庁勤務が4名である。

今回の育休対象者9名については、おおよそ昨年度からの継続であるが、当初予算の段階では、育児休業の取得が不確定であり、取得しないものとして人件費を計上していた。一方、臨時的任用職員については、当該職員が継続して育児休業等を取得することを前提として、当初予算に計上していた。

恒田委員 今回の臨時的任用職員4名の増は、育休職員とは関係ないのか。

企画総務部 育休とは関係なく、任用理由としては、6月末退職職員の代替え1名、病気休暇職員の代替え1名、今後育休予定者の代替え1名、当初日々雇用職員を予定していたものを臨時的任用職員に振り替えたものが1名の計4名である。

恒田委員 人件費のうち幼稚園費が大幅に減額されているが、これは、育児休業等と関係があるのか。

企画総務部 今回の補正については、当初予算以降、退職、人事異動等を精査したことによるものであり、育休のみの影響額ではない。

幼稚園費の大幅減額については、たき幼稚園が閉園し、たき認定こども園が開園したことにより、児童福祉施設費に振り替えたことによるものである。

■教育委員会

日程第1 議案第67号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

教育総務課・学校教育課・西部学校給食センター・文化財課・こども未来課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員 事務局費に関し、公用車の購入について、入札により52万7千円を減額するとのことであるが、入札残が大きいと感じるが、詳細について説明願う。

教育委員会 入札により残額が出たということである。

森本議長 学校地域連携事業について、外国人児童生徒指導補助員の支援を必要とする児童生徒が増加しているが、補助員の確保に苦慮していないか。

教育委員会 兵庫県教育委員会等から紹介いただくなどして人材確保に努めているが、母語によっては人材確保が難しい場合がある。なお、外国人児童生徒指導補助員のほか、児童生徒支援教員を配置するなどして対応している。

森本議長 外国人児童生徒指導補助員等の配置により、児童生徒が学校生活に早期に馴染んでいける取り組みとなるようお願いする。

恒田委員 教育費雑入について、災害共済金が支払われるのが遅いのではないか。

教育委員会 平成29年8月の雷被害に対する災害共済金であるが、保険会社の査定に時間がかかったことが原因と担当課から聞いている。

恒田委員 青山歴史村の版木館や土蔵の漆喰壁の剥落等の被害はいつの災害か。

教育委員会 平成29年の台風21号の被害によるものである。

学事課・中央図書館・田園交響ホール

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

恒田委員 特別支援学校管理費に関し、篠山養護学校の児童生徒の送迎について、これまではスクールバス4台と添乗員5名で運行していたが、利用増に伴い、8人乗りの公用車1台を追加し、現在は車両5台と添乗

教育委員会	<p>員6名で運行しているとのことであるが、次年度に新規の車両を購入する計画はあるのか。</p>
恒田委員 教育委員会	<p>篠山養護学校のスクールバス4台のうち2台について、老朽化に伴い、今年度更新することとしており、1台は9月納車、リフト付きのもう1台は3月中旬頃に納車の予定となっている。そうした中、必要が生じるのであれば増車も検討していく必要があると考えるが、現時点で次年度の入学者数や利用者数は分からない。</p>
恒田委員 教育委員会	<p>入学者数はいつ頃に確定するのか。</p> <p>障害の程度を踏まえ、2月頃の就学指導委員会で確定する。その上で、利用人数や利用者の居住地、送迎の必要性の有無等を踏まえ、ルートや必要車両数が確定することとなるので、現時点で予測はできない。</p>
恒田委員 教育委員会	<p>今後も公用車を利用し続ける可能性があるということか。</p> <p>送迎の運行業務については、人数が読めない段階でスタートする中、道路の幅員等も踏まえ、教育委員会車両である8人乗りの公用車を活用することでルートを組めた経緯がある。今後においても、教育委員会車両で対応できるところは対応していくが、バスが必要となるのであれば、購入等を検討していくこととなる。</p>
恒田委員 教育委員会	<p>現在、教育委員会車両である8人乗りの公用車は必要ないのか。</p> <p>必要性があり車両購入した経緯があるが、現在は当時の必要性がなくなっているので利活用している。</p>
恒田委員 教育委員会	<p>車両5台体制を確保しておくべきではないか。</p> <p>現在は5台の車両で対応しているが、次年度は不要となる可能性もある。</p>
森本議長	<p>交響ホール市主催事業費について、石川さゆりさんが田園交響ホールに来ていただけることは非常に夢のある事業である。当該事業は大河ドラマ誘致事業の中で大きな目玉になると期待しており、単に田園交響ホールだけで行うのではなく、教育委員会及び市をあげて全力で取り組んでいただきたい。</p>
教育委員会	<p>NHK大河ドラマ推進委員会に元NHK京都放送局長が委員としておられ、その方から石川さゆりさんの協力を得てはどうか、との提案をいただき、教育委員会として石川さゆりさんの公演を実施して盛り上げていこうという事になった。なお、推進委員会から支援をしていただくことを検討に入れている。</p> <p>田園交響ホールだけでは集客が厳しい面もある。大河ドラマ推進委</p>

員会は19団体の方々にご協力いただいております、八上校区中心に各所より団体が参加しておられる。市からも文化財課が参加しており、当該事業は田園交響ホールで実施するので、文化財課を通じて、あるいは、商工観光課に働きかけをし、この推進委員会を通じて市民の皆様にご広報していきたいと考えている。

補正予算を承認いただいた後には、自治会長会や関係団体へも周知し、多くの市民の方に鑑賞いただければと考えている。また、チケット販売において従来はグループ割5名からであったのを、今回3名からグループ割を適用するという事で、集客につなげたいと考えており、教育委員会及び市をあげて、この公演が盛り上がるよう努めていきたいと考えている。

森本議長

田園交響ホールで石川さゆりさんの公演が成功するというのも大事なことだが、この公演は丹波篠山市にとって、大河ドラマによる市の大きなPRの一つでなければならないと考える。入場者の集客は当然、大事なことであるが、それ以上に大河ドラマによる市のPRを他の部局と連携して市の魅力向上を行っていただきたい。

隅田座長

石川さゆり公演について、資料を見ると大変、高額であるとみるが、公演実施にあたっては、スタッフは何名こられるのか。また、石川さゆりさん程の方になると出演料11,550,000円というのは相場の額なのか。

教育委員会

スタッフ数について、本公演は生バンドであることから、バンドだけで7～8名、それに加え舞台・照明・音響のスタッフ、そして、出演者もあわせて25名になる。次に出演料について、本公演は2回公演であり、準備は前日からとなるため、スタッフ25名全員分の宿泊代も必要となる。坂本冬美さんや北島三郎さんの公演についても、ほぼ同額の出演料となっており、相場の額となっている。

■議員協議

隅田座長

議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば、発言願う。

— 意見等なし —

— 市長等への質問等なし —

■意向確認

議案第67号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

— 修正・反対等の意見なし —

隅田座長

この結果を含め、各委員との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたい。報告については、座長に一任いただきたい。

また、本日の会議の記録については、事務局に調製させ、座長、副座長において内容確認を行いたい。

— 異議なし —

14：45 散会